

平安京と日本書紀に共通する設計思想 ～古代日本を復原する～

高見 友幸

大阪電気通信大学 総合情報学部

takami@osakac.ac.jp

キーワード 平安京正方形仮説, 日本書紀, 紀年論, 摩訶大将棋起源説, 日本武尊

1 はじめに

前回第15回研究会発表においては、日本書紀に記載される179万2470という数値を取り上げ、それがきっちりと数値設計されていることを示した[1]。日本書紀では、紀年と人物と事績とが複雑に絡まり合う中、不思議なことに非常に整然とした数値的解釈ができてしまう場合にでくわすことが多い[2][3][4][5]。このような整然さは創話の一部に適切な数値が選ばれたというのではなく、ほぼすべてが意図されたもの、設計された数値であると考えてよいのではないだろうか。

同じことは初期平安京の復原研究においても見られる。平安京の宮殿や条坊の設計問題について、非常に厳密に数値の一致が実現しているのである。

さて、本稿で問題として取り上げるのは、ふたつの数値360と96である。これらの数値は、日本書紀の紀年問題にも、平安京の設計問題にも重要な数値として出現する。

2 日本書紀の復原問題について

2.1 数値360の出現

以下の3件の事績の年数差がいずれも360である。稿末に紀年復原した年表を示した(239年～407年)。

- 崇神天皇の即位(301年)と天智天皇の称制元年(661年)
- 仁徳天皇の即位(313年)と天武天皇の即位(673年)
- 神功皇后の崩御(269年)と舒明天皇の即位(629年)

2.2 数値96の出現

以下の3件の事績の年数差がいずれも96、あるいは960である。

- 卑弥呼の即位(239年)と日本武尊天皇の即位(335年)

- 神武天皇の即位(252年)と成務天皇の即位(348年)
- 崇神天皇の即位(301年)と菟道稚郎子天皇の即位(397年)
- 神武天皇の即位(紀元前660年)と崇神天皇の即位(301年)

3 平安京の復原問題について

図1に唐長安城と初期平安京の宮殿および条坊の寸法を示した。唐の寸法96歩が日本の寸法40丈であり、したがって、初期平安京は唐長安城の寸法を厳密に模倣していることがわかる[6][7][8]。図2と図3はより詳細な寸法の比較であり、同じ凸型宮殿形が抽出できることから、厳密な模倣であることは疑いようがない。

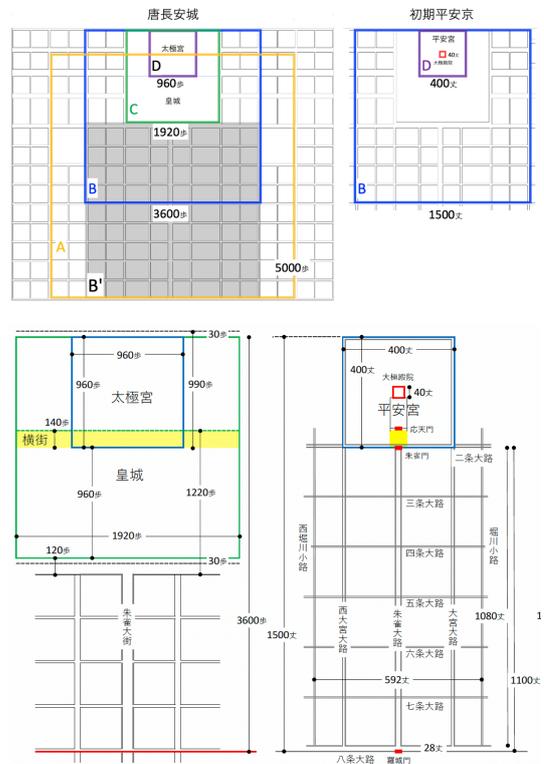


図1. 唐長安城と初期平安京の寸法の比較。

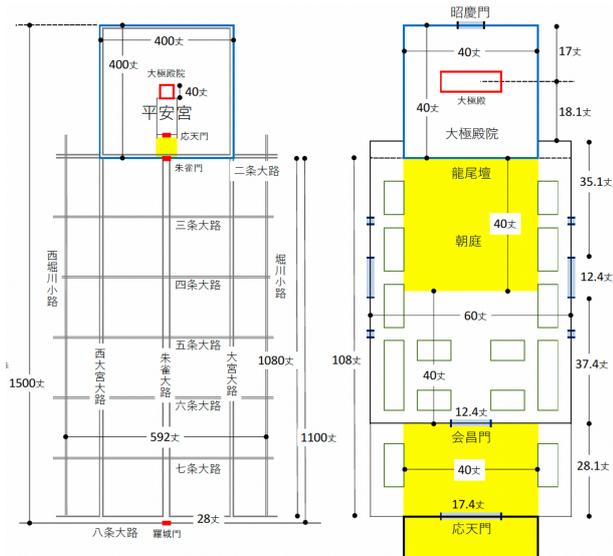


図2. 平安京と平安宮の凸型宮殿形。

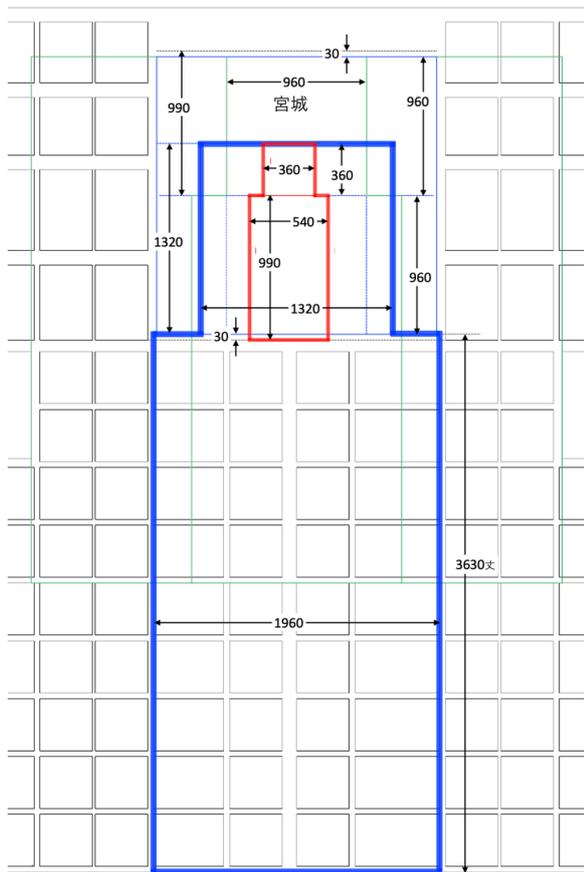


図3. 唐長安城における凸型宮殿形。

4 おわりに

本研究会発表では、発表時間の関係上、古代日本の大型将棋に関連して出現する数値96については取り上げなかったが、平安京や日本書紀と同様に、大型将棋にもやは

り96が頻出する。たとえば、駒について言えば、摩訶大将棋と大大将棋の駒数はともに片側96枚である。また、摩訶大将棋と大大将棋の駒をほぼ引き継いで作成されたとされる延年大将棋の駒の種類は96種類である（図4）。なお、これらの将棋の主目的は遊戯ではなく、呪術のツールとしての将棋であることに注意されたい。

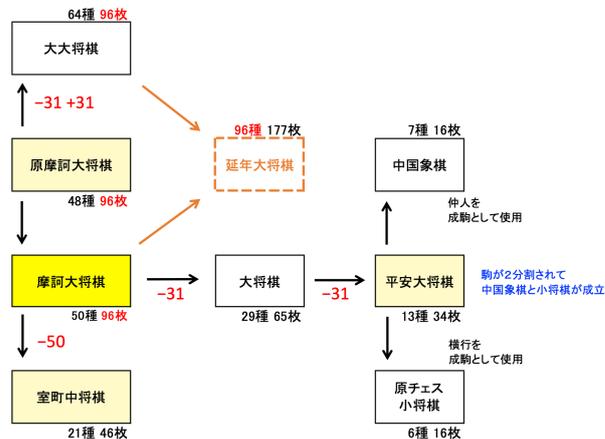


図4. 大型将棋の発展過程。

平安時代の大型将棋、唐長安城および初期平安京、日本書紀の紀年は、いずれも共通する基本思想のもとで設計されているものと考えざるを得ない。

参考文献

- [1] 高見友幸, 日本書紀に記載される 179 万 2470 年の解釈, IIARS 第 15 回研究会講演論文, 2024.
- [2] 高見友幸, データサイエンスとしての日本書紀紀年問題 神武天皇, 崇神天皇, 応神天皇, 神功皇后の解説, IIARS 第 14 回研究会講演論文集, 28-35, 2023.
- [3] 高見友幸, ジグソーパズル「原日本書紀」の解法, ゲーム学会「ゲームと教育」研究報告, 17-23, 2024.
- [4] 高見友幸, 日本書紀の紀年問題に関する考察 ~天皇の誕生年と即位年の解説~, 日本国史学第 20 号, 93-105, 2024.
- [5] 高見友幸, 日本書紀の紀年数値解析 ~日本武尊(やまとたけるのみこと)が天皇だった可能性~, 第 8 回 IIARS 全国大会講演予稿集, 2023.
- [6] 高見友幸, 唐長安城の復原 ~初期平安京の正方形仮説~, 国際 ICT 利用研究会論文誌, Vol.5, 26-33, 2022.
- [7] 高見友幸, 唐長安城の正方形仮説: 初期平安京との関連性, 考古学ジャーナル 2023 年 2 月号, 39-45, 2023.
- [8] 高見友幸, 唐長安城の数理モデル ~唐長安城の正方形仮説補遺~, 考古学ジャーナル 2023 年 3 月号, 34-40, 2023.

原日本書紀 (2024年8月版)

239	己未	魏志倭人伝：景初3年 邪馬台国 卑弥呼 朝貢 (神功39年条) 孝元天皇 即位 天之日矛 来日			
240	庚申				
241	辛酉				
242	壬戌				
243	癸亥				
244	甲子				
245	乙丑	BC667	10月5日 神武天皇 東征開始		
246	丙寅	BC666			
247	丁卯	BC665			
248	戊辰	BC664			
249	己巳	BC663			
250	庚午	BC662			
251	辛未	BC661			
252	壬申	BC660	神武元年	1	52/62歳
253	癸酉	BC659	神武2年	2	
254	甲戌	BC657	神武4年	3	
255	乙亥	BC630	神武31年	4	
256	丙子	BC619	神武42年	5	綏靖天皇 皇太子14歳
257	丁丑	BC585	神武76年	6	127/137歳
258	戊寅	BC584	(空位)		
259	己卯	BC583	(空位)		
260	庚辰	BC582	(空位)		
261	辛巳		BC581	綏靖元年	1 52/13/52歳
262	壬午		BC580	綏靖2年	2
263	癸未		BC578	綏靖4年	3
264	甲申	安寧天皇 皇太子11歳 *		BC557	綏靖25年 4
265	乙酉		BC549	綏靖33年	5 84/45歳
266	丙戌	BC548	安寧元年	1	20/12/20歳
267	丁亥	BC547	安寧2年	2	
268	戊子	BC546	安寧3年	3	
269	己丑	BC538	安寧11年	4	懿德天皇 皇太子16歳
270	庚寅	BC511	安寧38年	5	57/49歳
271	辛卯	BC510	懿德元年	1	- /12/44歳
272	壬辰	BC509	懿德2年	2	
273	癸巳	BC489	懿德22年	3	孝昭天皇 皇太子18歳
274	甲午	BC477	懿德34年	4	- /45歳
275	乙未	BC476	(空位)		
276	丙申		BC475	孝昭元年	1 - /11/32歳
277	丁酉		BC447	孝昭29年	2
278	戊戌	孝安天皇 皇太子20歳		BC408	孝昭68年 3
279	己亥		BC393	孝昭83年	4 - /93歳
280	庚子	BC392	孝安元年	1	- /22/36歳
281	辛丑	BC391	孝安2年	2	
282	壬寅	BC367	孝安26年	3	
283	癸卯	BC355	孝安38年	4	
284	甲辰	BC317	孝安76年	5	孝靈天皇 皇太子26歳
285	乙巳	BC291	孝安102年	6	- /123歳
286	丙午	BC290	孝靈元年	1	- /31/53歳
287	丁未	BC289	孝靈2年	2	
288	戊申	BC255	孝靈36年	3	孝元天皇 皇太子19歳
289	己酉	BC215	孝靈76年	4	- /106歳
290	庚戌	BC214	孝元元年	1	- /1/60歳
291	辛亥	BC211	孝元4年	2	
292	壬子	BC209	孝元6年	3	
293	癸丑	BC208	孝元7年	4	

294	甲寅	BC193	孝元22年	5	開化天皇 皇太子16歳				
295	乙卯	BC158	孝元57年	6	- /57歳				
296	丙辰							BC157	開化元年 1 56/4/52歳
297	丁巳							BC153	開化5年 2
298	戊午							BC152	開化6年 3
299	己未				崇神天皇 皇太子19歳			BC130	開化28年 4
300	庚申							BC98	開化60年 5 115/63歳
301	辛酉	BC97	崇神元年	1	53/101/52歳				
302	壬戌	BC95	崇神3年	2					
303	癸亥	BC94	崇神4年	3					
304	甲子	BC93	崇神5年	4					
305	乙丑	BC92	崇神6年	5		BC29	垂仁元年	1	42/55/45歳
306	丙寅	BC91	崇神7年	6	国内平穩	BC28	垂仁2年	2	皇后 狭穗姫命 譽津別命 誕生
307	丁卯	BC90	崇神8年	7		BC27	垂仁3年	3	天日槍 現る
308	戊辰	BC89	崇神9年	8		BC26	垂仁4年	4	
309	己巳	BC88	崇神10年	9	武埴安彦の謀反	BC25	垂仁5年	5	狭穗彦王の謀反 狭穗姫命 崩御
310	庚午	BC87	崇神11年	10		BC23	垂仁7年	6	
311	辛未	BC86	崇神12年	11	天下太平	BC15	垂仁15年	7	皇后 日葉酢媛命
312	壬申	BC81	崇神17年	12		BC07	垂仁23年	8	譽津別命 30歳
313	癸酉	BC50	崇神48年	13		BC05	垂仁25年	9	
314	甲戌	BC38	崇神60年	14		BC04	垂仁26年	10	
315	乙亥	BC36	崇神62年	15	譽津別命 誕生	BC03	垂仁27年	11	日本武尊 誕生
316	丙子	BC33	崇神65年	16		BC02	垂仁28年	12	
317	丁丑	BC30	崇神68年	17	120/168歳	1	垂仁30年	13	景行天皇 皇太子
318	戊寅					3	垂仁32年	14	日葉酢媛命 崩御
319	己卯	71	景行元年	1	47/78/84歳	5	垂仁34年	15	
320	庚辰	72	景行2年	2	皇后 播磨稲日大郎姫	6	垂仁35年	16	天下太平
321	辛巳	73	景行3年	3		8	垂仁37年	17	景行天皇 皇太子21歳
322	壬午	74	景行4年	4		10	垂仁39年	18	
323	癸未	82	景行12年	5		58	垂仁87年	19	日本武尊・仲哀天皇 誕生
324	甲申	83	景行13年	6		59	垂仁88年	20	天日槍
325	乙酉	87	景行17年	7		61	垂仁90年	21	
326	丙戌	88	景行18年	8		70	垂仁99年	22	140/153歳
327	丁亥	89	景行19年	9					
328	戊子	90	景行20年	10					
329	己丑	95	景行25年	11					
330	庚寅	97	景行27年	12	日本武尊 16歳				
331	辛卯	98	景行28年	13					
332	壬辰	110	景行40年	14					
333	癸巳	121	景行51年	15	成務天皇 皇太子				
334	甲午	122	景行52年	16	播磨稲日大郎姫 崩御				
335	乙未	123	景行53年	17					
336	丙申	124	景行54年	18					
337	丁酉	125	景行55年	19					
338	戊戌	126	景行56年	20					
339	己亥	127	景行57年	21					
340	庚子	129	景行58年	22					
341	辛丑	130	景行60年	23	106/137歳				
342	壬寅								
343	癸卯								
344	甲辰								
345	乙巳								
346	丙午			a					
347	丁未			b					
348	戊申					131	成務元年	1	48/36歳
349	己酉			c		132	成務2年	2	
350	庚戌			d		133	成務3年	3	

日本武尊 (天皇)

351	辛亥		e		134	成務4年	4		
352	壬子		f		135	成務5年	5	天下太平	
353	癸丑				178	成務48年	6	仲哀天皇 皇太子31歳	
354	甲寅				190	成務60年	7	107/95歳	
355	乙卯		肖古王 薨去		191	(空位)			
356	丙辰		貴須王 即位						192 仲哀元年 1 44/44/45歳
357	丁巳								193 仲哀2年 2 皇后 氣長足姫
358	戊午								199 仲哀8年 3
359	己未		(微叱己知波珍干岐 人質)						200 仲哀9年 4 52/52歳
360	庚申								
361	辛酉								
362	壬戌								
363	癸亥								
364	甲子		枕流王 即位						
365	乙丑		辰斯王 即位						
366	丙寅								
367	丁卯								
368	戊辰	201	神功元年	1	32/32歳				
369	己巳	202	神功2年	2					
370	庚午	203	神功3年	3	応神天皇 皇太子3歳				
371	辛未	205	神功5年	4	(微叱許智伐早 逃亡)				
372	壬申	213	神功13年	5		270 応神元年	1	70/90/70歳	阿花王 即位
373	癸酉	239	神功39年	6	魏志：景初二年239年云々	271 応神2年	2		
374	甲戌	240	神功40年	7	魏志：正始元年240年云々	272 応神3年	3	(阿花王 即位)	
375	乙亥	243	神功43年	8	魏志：正始四年243年云々	274 応神5年	4		
376	丙子	246	神功46年	9	a	275 応神6年	5		
377	丁丑	247	神功47年	10	b	276 応神7年	6		直支 人質
378	戊寅	249	神功49年	11	c	277 応神8年	7	(直支 人質)	
379	己卯	250	神功50年	12	d	278 応神9年	8		
380	庚辰	251	神功51年	13	e	280 応神11年	9		
381	辛巳	252	神功52年	14	f	282 応神13年	10		
382	壬午	255	神功55年	15	(肖古王 薨去)	283 応神14年	11		実聖尼師今 即位 未斯欣 人質
383	癸未	256	神功56年	16	(貴須王 即位)	284 応神15年	12		
384	甲申	262	神功62年	17		285 応神16年	13	(直支王 即位)	
385	乙酉	264	神功64年	18	(枕流王 即位)	288 応神19年	14		直支王 即位
386	丙戌	265	神功65年	19	(辰斯王 即位)	289 応神20年	15	阿知使主 来る	
387	丁亥	266	神功66年	20	泰初二年 倭の女王 遣使	291 応神22年	16		
388	戊子	269	神功69年	21	100/100歳	294 応神25年	17	(直支王 薨去)	
389	己丑					297 応神28年	18	(高麗王 朝貢)	
390	庚寅					300 応神31年	19		
391	辛卯					306 応神37年	20		
392	壬辰					308 応神39年	21		(直支王が新齊都媛を遣わす)
393	癸巳					309 応神40年	22	菟道稚郎子 皇太子	
394	甲午					310 応神41年	23	110/130歳	直支王 薨去 久尔辛王 即位
395	乙未					311 (空位)			
396	丙申					312 (空位)			
397	丁酉								訥祇麻立干 即位
398	戊戌								未斯欣 逃還
399	己亥								碑文：倭人が新羅国境に満つ
400	庚子			菟道稚郎子					碑文：高句麗兵5万新羅救援
401	辛丑								
402	壬寅								
403	癸卯								
404	甲辰								
405	乙巳								
406	丙午								
407	丁未								

広開土王